

令和3年度 年間授業計画

都立小山台高等学校・定時制課程

1	教科・科目	数学・数学 I	2	単位
2	対象学年	1	年	
3	教科担当者	久保田	使用教材	
4	使用教科書	新数学 I ・東京書籍		

5 年間授業計画

学期	月	単 元 (指導内容)	具体的な指導目標	予 定 時数
1学期	4月	第1章 数と式 第1節 整式 1. 文字式のきまり 2. 整式	・文字式についての基本事項の理解を深める。・同類項を整理することによって、整式の和や差が求められるようにする。・指数法則、分配法則を利用して多項式どうしの乗法ができるようにする。・公式を利用して、展開や因数分解ができるようにする。	1 2
	5月	3. 整式の加法・現法 4. 乗法 5. 展開 6. 因数分解 中間考査		
	6月	第2節 実数 平方根とその計算 第3節 方程式と不等式	・根号を含む式の加法・減法・乗法ができるようにする。・身近な例を使って不等式をつくり、不等式の意味や不等式の解の意味を理解する。・1次方程式の解法と対比させながら、1次不等式を解くことができるようにする。・連立不等式の意味を理解し、その解を求められるようにする。	1 2
	7月	1. 平方根とその計算 2. 不等式 3. 不等式の性質 4. 1次不等式 5. 連立不等式 6. 不等式の応用 期末考査		
2学期	9月	第2章 2次関数 第1節 関数とグラフ	・中学の復習をしながら、関数の意味と1次関数のグラフについて学ぶ。・2次関数の意味を理解し、 $y = ax^2$ のグラフの特徴を理解して、グラフを正しくかけるようにする。	1 4
	10月	1. 1次関数と 2. 2次関数とグラフ 中間考査		
	11月	第2節 2次関数の値の変化 1. 2次関数の最大値・最小値	・2次関数のグラフを利用して、2次関数の最大値・最小値が求められるようにする。・2次関数のグラフと2次方程式の解の関係を理解する。・2次関数のグラフと2次不等式の解の関係を理解する。	1 4
	12月	2. 2次関数とそのグラフと2次方程式 3. 2次関数とそのグラフと2次不等式 期末考査		
3学期	1月	第4章 集合と論証 第1節 集合 1. 集合と要素	・集合の概念や用語を理解する。・命題の概念や用語を理解できるようにする。・対偶による証明・背理法による証明ができるようにする。	1 4
	2月	第2節 命題と証明 1. 命題 2. いろいろな証明法		
	3月	学年末考査		

6 学習者への注意

出席を常とし、日々の授業を大切にし、宿題等の提出物は必ず提出する。

7 評価の観点、方法

定期試験の得点を基本とし、授業態度・出席状況・授業に対する姿勢・提出物など加味し評価する。